

2026年1月28日作成 Ver.1

《情報公開文書》

急性腹症の長期予後関連因子の検討

研究の概要

【背景】

急性腹症は緊急の処置を要する疾患の総称であり原因疾患や重症度は多岐にわたる。これまで急性腹症に関する研究は、短期的な経過に焦点を当てたものが多く、退院後を含めた長期予後に関する情報が不足している。

一方で、高齢化の進行に伴い、急性腹症後の生存率や体力低下が大きな問題となっている。急性期の臨床情報や治療内容が、どのように長期予後に影響するかを明らかにすることは、治療戦略の最適化や退院後フォロー体制の構築に寄与すると考えられる。

【目的】

急性腹症患者における長期予後に関連する臨床的因子を明らかにすること

【意義】

急性腹症患者の長期予後を改善できる可能性がある。

【方法】

対象となる患者さん

2016年1月1日～2036年6月30日の間に、当院にて急性腹症に対する治療を受けられた患者さんが対象となります。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景：性別、年齢、嗜好歴、家族歴、生活歴
- ・理学・自覚所見：体重、パフォーマンスステータス、VAS、ADL
- ・診療記録：診察時臨床所見、手術時臨床所見、病理組織検査所見、退院時要約
- ・臨床検査：白血球数、リンパ球数、血小板数、ビリルビン、CRP、AST、ALT、LDH、ALP、BUN、Cr、Na、K、Cl、TC、TP、Alb、呼吸機能検査、心エコー検査
- ・画像検査（胸腹部 CT、PET 検査、内視鏡検査）
- ・併用薬：治療薬の有無と薬剤名、用法・用量、服薬期間
- ・有害事象：Clavian-dindo 分類を用いて評価
- ・治療経過、術後経過

研究実施期間

研究機関長の許可日～2046年12月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 大腸・肛門外科 氏名：井上 悠介 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095 (819) 7304
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 大腸・肛門外科 井上 悠介
 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
 電話：095 (819) 7304 FAX 095 (819) 7304

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200
 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）